

バラ(スタンダード)
Rosa hybrida
 (バラ科)

切り花用のバラ品種は、ハイブリッドティーとフロリバンダに大別でき、スタンダードの品種にも両タイプがある。青色を除き花色、花形とも豊富である。日本での生産量はキクに次いで多いが、インド、ケニア、韓国等からの輸入も増えている。水ストレスに弱く、ベントネックが起こりやすいというイメージが消費者にはある。バクテリア管理を徹底して行い、水ストレスを与えずに流通させると、10日以上の日持ちが得られる。仕事花、家庭消費とも幅広い利用が見込める品目である。前処理には抗菌剤や蒸散抑制剤が、後処理には糖と抗菌剤が添加され、品質保持に有効である。低温湿式輸送が望ましい。

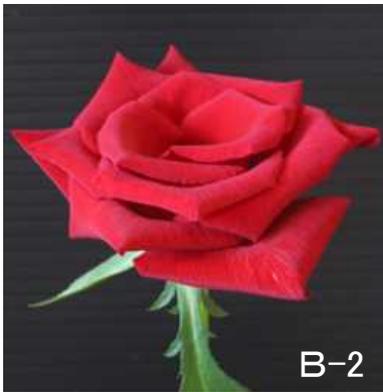
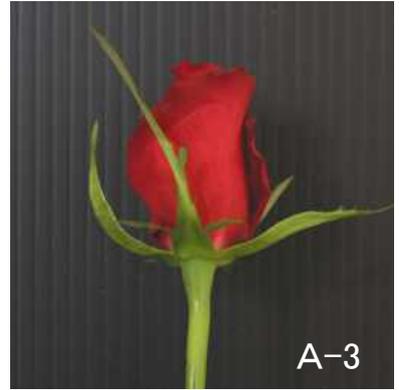
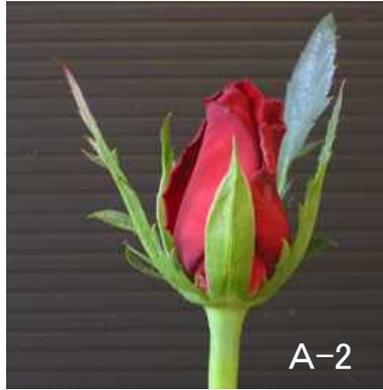
1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
花弁の萎れ	触ってみて A: 張りがある B: やや軟となる C: 軟らかくなる および視覚的に D: 垂れ下がる	
花首の萎れ (ベントネック)	視覚的に A: 張りがある B: しわが寄る C: 傾く D: 垂れる	花弁の萎れと花首の萎れは並行するが、品種により花弁の萎れのみが進行する場合がある 写真参照
開花	視覚的に A: 花弁が展開しはじめる B: 露心する C: 雄ずいが突出する D: 落弁する E: 開花せずブルーイング・乾燥・変色する(花弁の状態から時期を総合的に判定)	露心までは、A-1: かしい、A-2: ほころぶ(円筒形)、A-3: 半開(逆円錐形)、A-4: 全開、B: 露心と判定 (写真参照)
灰色カビ病	花弁に C: 小斑点(5mm以下)が発生する D: 大斑点となる E: 落弁する	花床に発生すると落弁しやすくなる。
ブルーイング	A: ブルーイングなし B: ややあせる C: 明らかにブルーイングが発生する D: 激しくブルーイングが発生する	花弁の展開に伴う花色の淡色化は測定対象としない。
花弁の乾燥・変色	A: 乾燥・変色なし C: 先端がわずかに変色する D: 先端が変色・壊死する	赤色品種では目立ちやすい。 (写真参照)
がく片・葉の黄変	A: 黄変なし B: 下位葉でわずかに黄変する C: 下位葉で黄変する D: 中位葉まで激しく黄変する	黄変した葉はその後、E: 落葉する。
その他	D: 落葉、葉害、病虫害など。	

2) 留意点

下葉は十分に取り除いて、いけ水につからないようにする。
 乾式輸送後強く萎れた切り花は、あらかじめ水で水あげを行った後、後処理剤の溶液に移して品質評価を開始する。
 多湿下で灰色カビ病が発生しやすい。
 収穫以降のバクテリア管理が徹底して行われていることを確認する。

3) 開花



4) チェック事項



B: 花首にしわが入る



C: 花首が傾く



D: 花首が折れ曲がる

ベントネック



葉の黄変

D: 葉の黄変・落葉



D: 落弁

落弁



C: 萎れる
(軟)

D: 垂れ下がる



花弁の萎れ



C: 先端がわずかに変色

D: 先端が変色・壊死



花弁の褐変・壊死